

カーナビデータを活用した交通安全対策



- 県はHondaと協定を締結し、カーナビデータを道路整備に活用
 - 潜在的な事故危険箇所を把握し、安全対策を実施
- ➡少ない費用で大きな効果を発揮

取組事例

データ分析により「急ブレーキ多発箇所」を特定

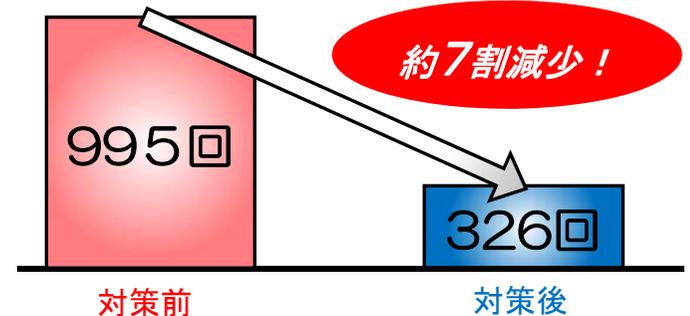
平成19年度から平成23年度までに160箇所を取組を実施

埼玉県オリジナルの手法



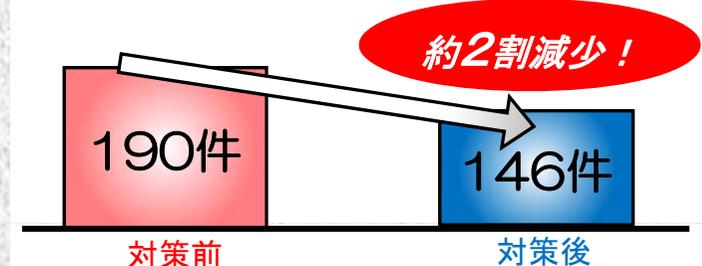
効果

○1ヶ月間の急ブレーキ総数の比較



※H23年9月までに完成した160箇所

○1年間の人身事故の比較



※平成22年9月までに完成した145箇所

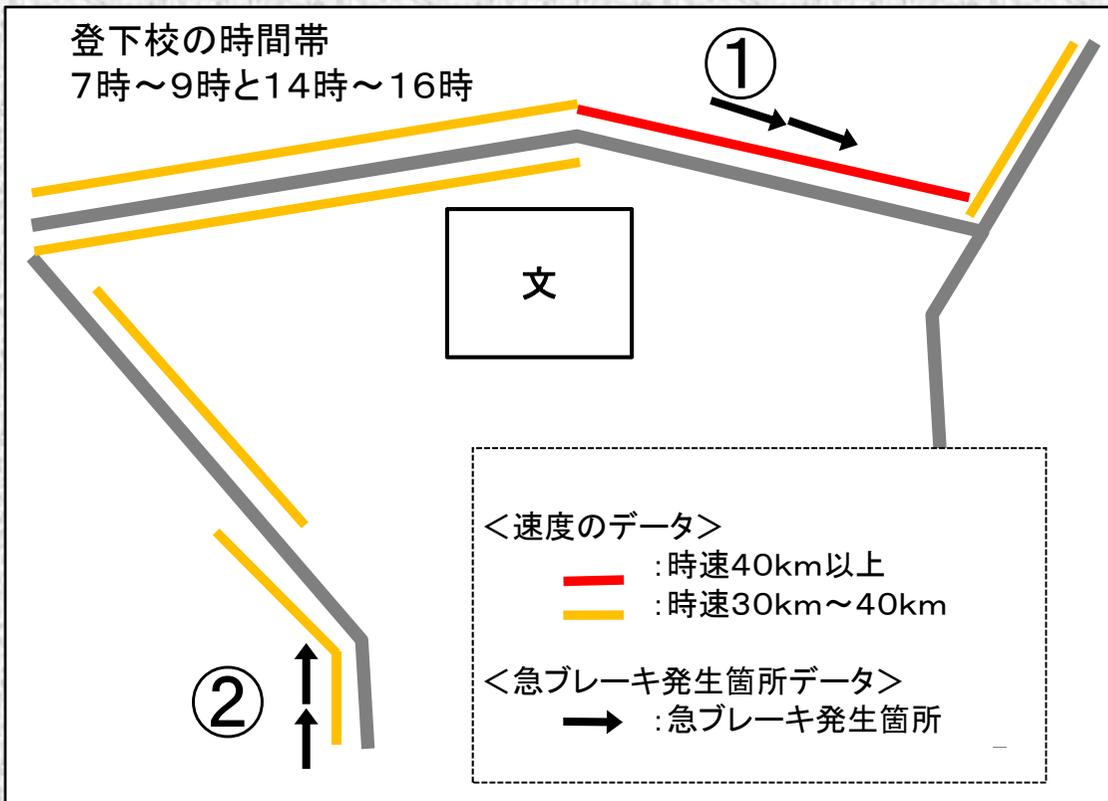
新たに通学路の安全対策に活用



- 県管理道路で歩道が未整備な通学路に照準
- 登下校の時間帯に着目してデータを分析
- 時間をかけずにすぐに行える効果的な安全対策を実施

県管理道路延長 約2,800km
通学路延長 約1,390km
うち歩道未整備延長 約320km

カーナビデータの分析イメージ



安全対策のイメージ

